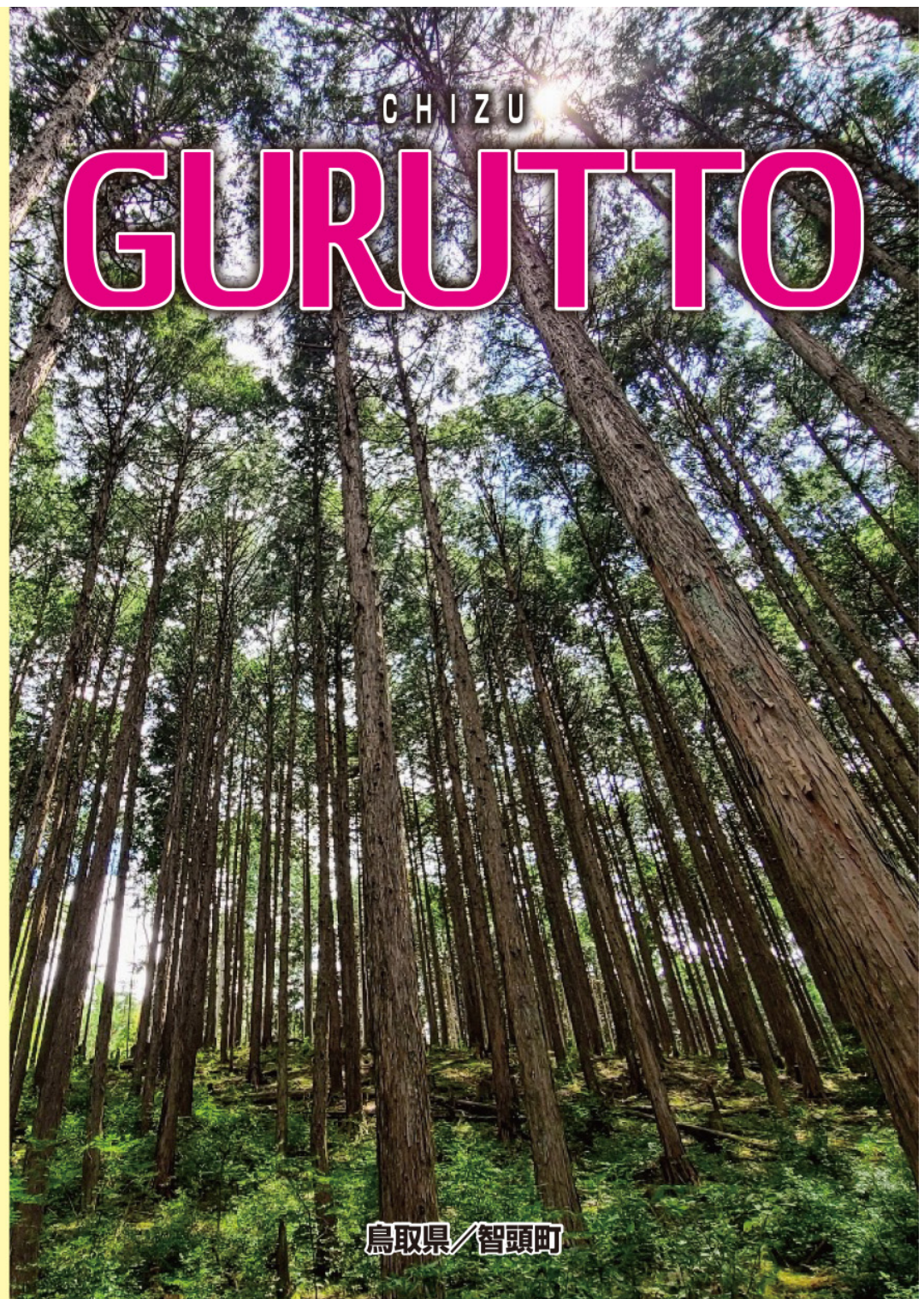


# CHIZU GURUTTO



鳥取県/智頭町



## ACCESS

- JRで  
大阪から約2時間 (智頭急行)  
京都から約2時間30分 (智頭急行)  
岡山から約1時間20分 (智頭急行)  
鳥取駅から約45分 (JR因美線)  
広島から約2時間  
(JR山陽本線/新幹線~姫路駅~智頭急行)
- お車で  
大阪から約2時間  
(中国自動車道→佐用JCT→鳥取道)  
鳥取市内から約30分 (鳥取道)  
岡山から約2時間 (R53)  
広島から約3時間30分  
(中国自動車道、津山IC~R53)
- 高速バスで  
大阪から約2時間20分 (日交特急バス)
- 飛行機で  
東京 (羽田空港) → 鳥取空港  
約1時間10分  
鳥取空港からお車で 約40分



早くて便利な  
「智頭急行」  
大阪←→智頭間  
2時間  
ご利用下さい!

● お問い合わせ・観光案内は  
(一社)智頭町観光協会

〒689-1402 鳥取県八頭郡智頭町大字智頭2067-1(智頭駅前)  
TEL(0858)76-1111 FAX(0858)76-1112  
E-mail kankou@chizukankou-kurashiya.jp  
URL <https://chizukankou-kurashiya.jp/>

智頭町役場

〒689-1402 鳥取県八頭郡智頭町大字智頭2072-1  
TEL(0858)75-4112(代) FAX(0858)75-1193  
E-mail chizu@town.chizu.tottori.jp  
URL <http://www1.town.chizu.tottori.jp/>



智頭町  
ホームページ



智頭町  
Facebook

令和5年9月 増刷

おもいっきり深呼吸。まる一日、まわれば「智頭町」がわかる。



じると

智頭

ち

づ

GURUTTO CHIZU

鳥取県八頭郡智頭町 (とっとりけん やすぐん ちづちょう)



智頭町は面積の約 93% が山林で、人口約 6,300 人 (令和 5 年 8 月現在) の小さな町です。町を囲む山林のほとんどが杉で、「杉のまち」として知られ、また鳥取砂丘を育んだ千代川の源流の町としても、注目を集めています。

町の日常の中には、昔から伝わる生活の知恵が受け継がれ、暮らしを支えてきた食文化が残り、人は自然と共に生活しています。

智頭町は、森が育む「人の暮らし」を実感できる場所です。

見てみんさい。食べてみんさい。聞いてみんさい。歩いてみんさい。住んでみんさい。



秋には西日本最大級の紅葉が楽しめる芦津溪谷(写真は三滝ダム)

# ちづ ちず 智頭の地図

智頭町には懐かしい風景、ほっとする風景がまだまだ残っています。旅人の心を癒す素朴な風景と、地元の方々との交流をお楽しみ下さい。

令和元年7月1日  
「SDGs 未来都市」に選定されました。



**GURUTTO  
CHIZU**

10年の歳月を費やして完成した和風建築の集大成。  
その壮大なスケールをご覧ください。



国指定重要文化財  
智頭町指定文化財  
**石谷家住宅**

昔ながらの古い建物の集まる「智頭宿」。その中央に「石谷家住宅」があります。  
江戸時代には大庄屋も務めたこともある石谷家。広い屋敷（3000坪）には約40の部屋があり、大規模な近代和風建築として評価は高く、現在は一般公開され、多くの観光客で賑わっています。



日本庭園 四季それぞれの移り変わりを魅せる茶室・座敷に面した池泉庭園



ギャラリー 石谷家住宅内の蔵では、県内外の芸術家の作品展を開催するなど、ギャラリーとして解放しています。



諏訪神社

宿場町の面影を残す  
**智頭宿**

智頭宿は、鳥取県内で最大の宿場町として栄え、史跡や道標など、往時を偲ばせる古い町並が今も残っています。



土間から見上げる豪壮な梁組は圧巻です。現代では不可能と言われるその材料の調達。当時が偲べます。



米原家住宅 ※非公開  
(国登録有形文化財)

智頭宿の通りには、智頭産の巨木をふんだんに使い、最高の技術で建てられた住宅が多くあります。

智頭宿は、参勤交代で殿様が宿泊した最初の宿場町です。



道しるべ



昭和17年に建築された洋風消防屯所  
(国登録有形文化財)

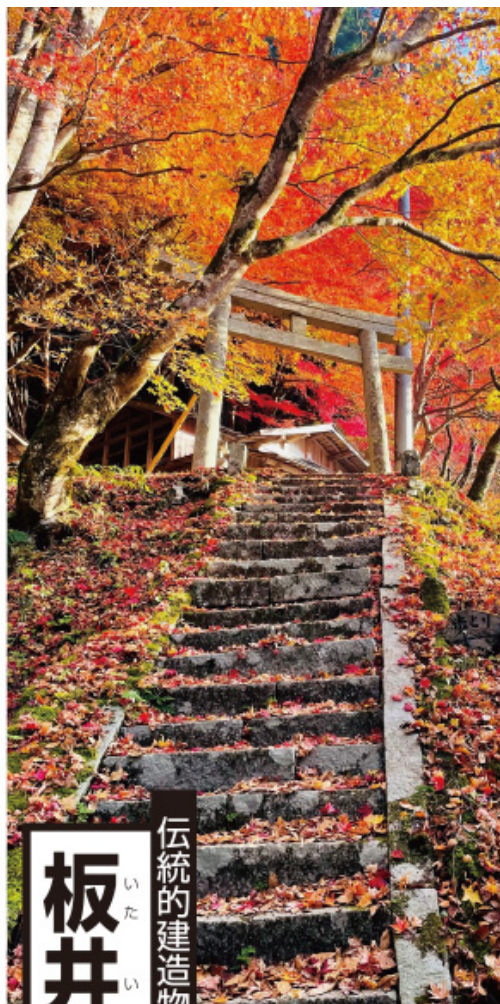


旧塩屋出店 明治30年頃の建築で和風庭園を有しています。  
(国登録有形文化財)

西河克己映画記念館  
(国登録有形文化財)  
代表作「絶唱」、「青い山脈」、「伊豆の踊り子」、「潮騒」など、日本映画の黄金時代を支えた智頭町出身映画監督西河克己氏の資料が展示されています。



江戸時代から続く酒蔵。(諏訪酒造)

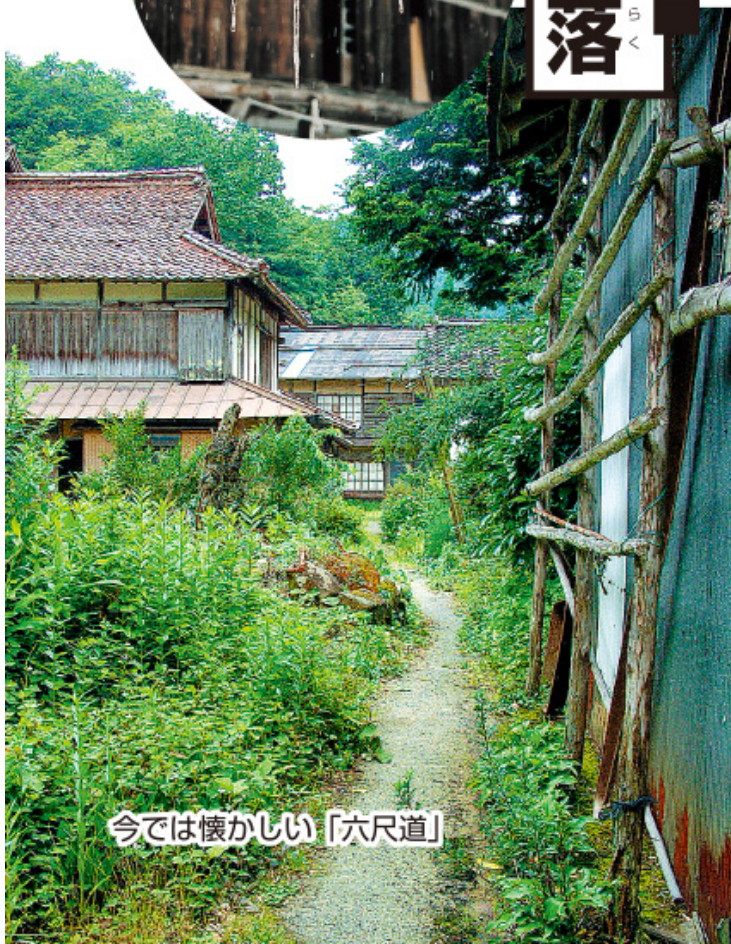


# 板井原集落

伝統的建造物群保存地区

日本の山村集落の「原風景」を今に残す。

昭和30年代にタイムスリップしたような山村集落風景は全国的にも貴重な風景となっています。



今では懐かしい「六尺道」



藤原家住宅（町指定文化財）は明治32年頃の建物

村中の道路は六尺道と呼ばれる車も通れない狭い地道。平家落人の隠れ里として伝えられ、大部分の建物が70年以上経過しており、中には約280年も経過した建物もあります。

冬は、3月中旬頃まで深い雪に覆われ、厳しく長い冬を耐え遅い春を待つのです。



板井原ふるさと館



成長しても 15cm 程度の大きさにしかならない板井原大根。集落内で天日干して昔ながらの方法で漬けた板井原ごうこは“幻の漬け物”と呼ばれています。



初めてなのに、懐かしい。まるで、時間が止まったような静かで穏やかな気持ちになれる場所。

約 100 年前の古民家（養蚕農家）を復元したカフェ <sup>のどか</sup>「和佳」

川のせせらぎや小鳥のさえずりを聞きながらゆったりとした時間をお過ごしいただけます。



**新田**

人形浄瑠璃の里  
しんでん

残したい原風景。  
暮らしてみたい町を目指して。  
まさに日本の農村の原風景を彷彿させる素朴な景観を残しています。  
澄んだ空気と清らかな水、豊かな自然環境に恵まれた集落です。

人間国宝・紋十郎の技が生きづく伝統芸能

**相生文楽  
人形芝居**

明治初期より始められた人形浄瑠璃芝居は、その使い手が三位一体となって、日本人の心の底に流れる義理人情の世界を生き生きと演じるもので、今もこの山里に脈々と受け継がれています。



遠くの親戚や友人の家を訪ねたような、ほっこりとした田舎暮らしをご体感いただけます。

民泊の大きな魅力は、町内の民家へ泊まり、智頭町で暮らす人々との交流と環境を楽しむ事です。民泊家庭の家族とリラックスしてお楽しみください。

●民泊のご予約・お問い合わせは  
智頭町観光協会  
TEL 0858-76-1111  
FAX 0858-76-1112  
E-Mail  
minpaku@chizukankou-kurashiya.jp



**田舎暮らしを体験**

移住、定住を考えていらっしゃる皆様に活用していただくために、おためし住宅を整備しています。



古民家再生住宅や智頭杉を使ったお試し住宅など、好みに合わせてご利用ください。  
(利用期間/3日~3ヶ月)



▲ほすぎの家(郷原)

※智頭町観光協会総合案内所暮らし屋に、移住定住相談窓口がありますのでご相談ください。

◀いろいろの家(芦津)

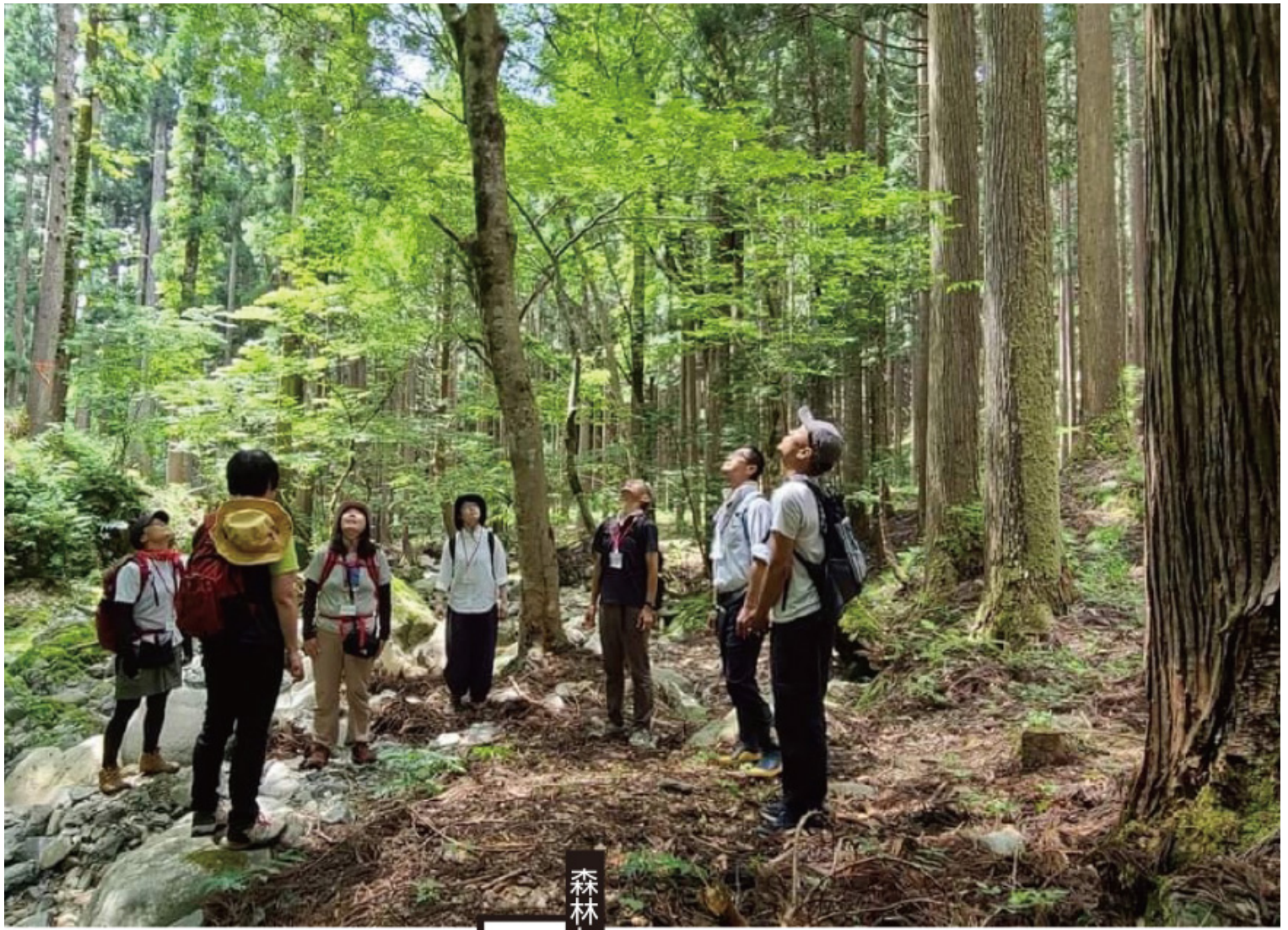
智頭町での住宅さがし、春の山菜採り、冬のスノーシュー、また森林セラピー®の拠点に。自然を満喫する智頭町の観光基地としてご利用下さい。(利用条件を満たした方に限ります。)

**ナギノ森ノ宿**

地域の団体や若手経営者が力を合わせ、廃校になった小学校が銭湯・宿泊施設に生まれ変わりました。



一人用のドミトリータイプやゆったりと家族で泊まる事が出来る部屋、ペット同伴可能な部屋など、様々なタイプから選ぶことができます。



森林セラピー基地

# 芦津

あしづ

鳥取砂丘を育んだ千代川の源流域芦津は、森林セラピー基地に認定されており、常緑樹の杉や桧、鮮やかな色彩変化を見せる落葉広葉樹が混在する雄大な森林の里です。

森林セラピーガイドの案内で、大自然の造形美、四季の移ろいを堪能したあとは、芦津ならではの山菜料理や民泊で、田舎のゆっくりとした時間の流れに癒されてください。(芦津の他に、こもれびの森、横瀬谷、天木森林公園コースがあります)

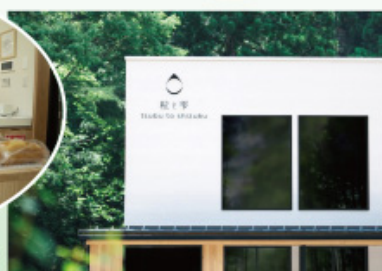


山里料理「みたき園」

芦津森林セラピーロードの手前には、このような店もあります。



豆腐スイーツ「粒と栗」



シャワークライミング





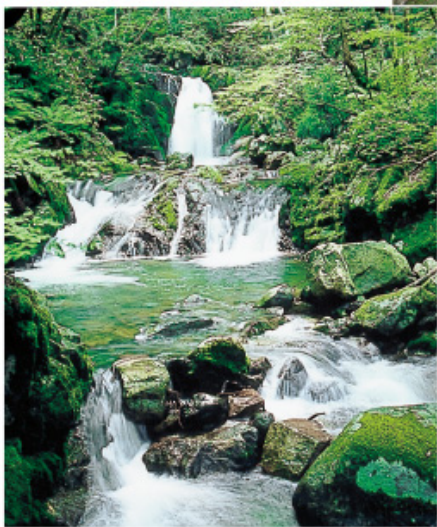
イワウチワ (4月)



しゃくなげ (5月)



どうだんつツツジ (6月)



国定公園  
**那岐山**  
なぎさん

鳥取県と岡山県にまたがる国定公園那岐山。山頂からは西に大山、北に鳥取砂丘、南には瀬戸内の島々や四国の山並が眺望できます。ぜひ、登山に挑戦して欲しい山のひとつです。

ガイドと歩く

スノーシュー

### 冬山はスキーだけじゃない! のんびり、ゆっくり雪山を歩く。



ベテランガイドと歩く雪山は、爽快そのもの。一步一步、雪を踏みしめて、智頭町の山をご満喫ください。新しい発見があるかも。

# 大自然と遊ぶ

歴史の道を  
歩いてみませんか？

「国史跡指定」  
文化庁選定「歴史の道百選」  
歩いてみたい日本の百ヶ所「遊歩百選」選定

## ちづ おうらい 智頭往来

奈良時代以前から、畿内と因幡地方を結ぶ主要道であり、江戸時代には参勤交代の道として重要視されてきた「智頭往来」。現在、智頭町内の約21キロが「歴史の道」に選定されています。

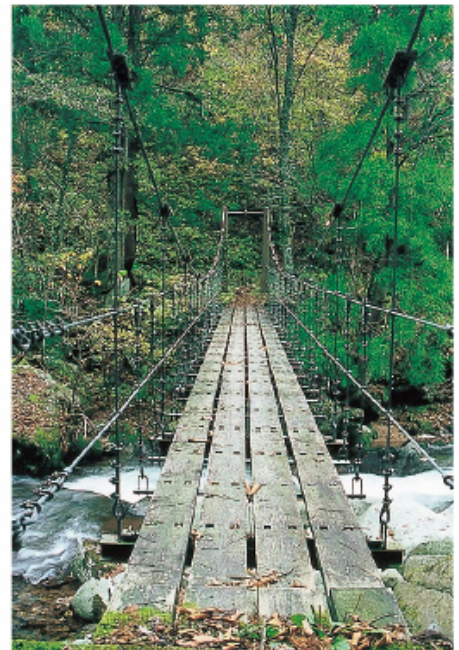


美しい自然の風景はもちろんのこと、「智頭宿」をはじめ、270年経った今もその風景が変わらない場所など、昔の面影を残す数々の名所が点在しています。旅人や商人も利用した智頭往来。先人たちの目線で、歩いてみてはいかがでしょうか。

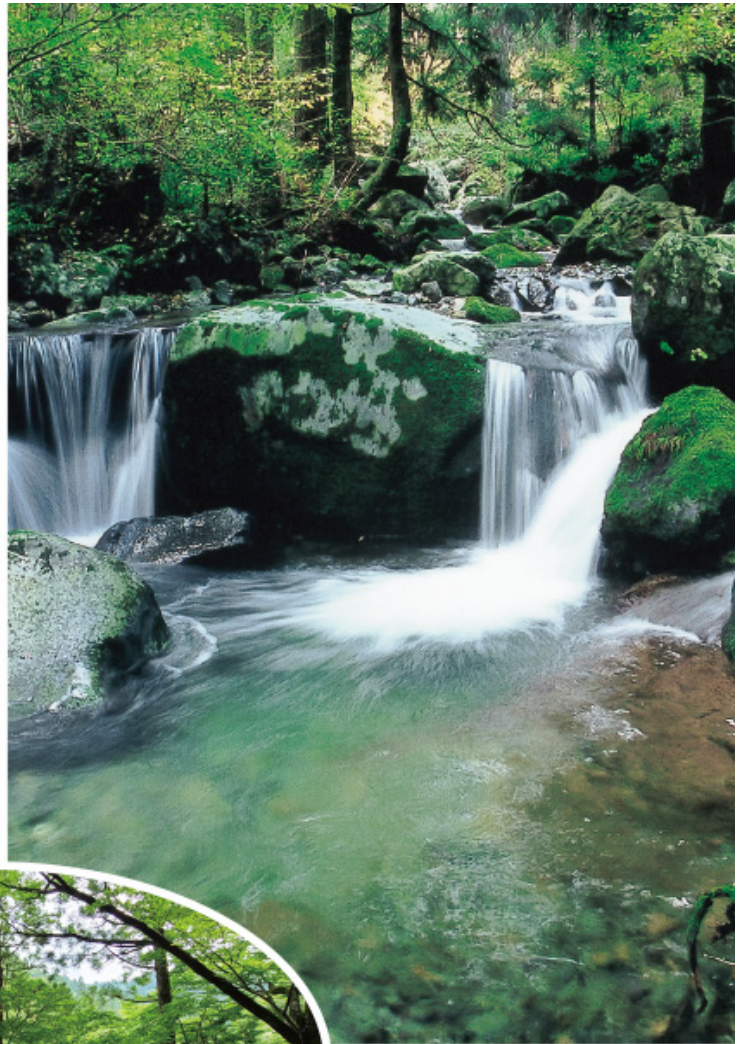
そうがたき  
副ヶ滝

人気のトレッキング  
コースを歩く。

## 水と緑、小鳥のさえずりに包まれて のんびり散策。



昔、恋に破れた娘が、  
蛇の姿となりその娘の  
霊が住みつき、「蛇の輪」  
と呼ばれる不思議なミ  
ステリーサークルの伝  
説のある山など、見所  
も充分です。





すわ  
■諏訪神社・柱祭り

信州諏訪大社の分霊を奉還し、鎮火の神として厚く崇敬されている。6年ごとに行われている「柱祭り」は、町内の山から4本の杉の木をかつぎ出し、町内を練り歩いた後、神社に奉納される勇壮な祭りです。

四季を通し様々なイベントが開催されております。



■智頭河畔 桜カフェフェスティバル 4月

智頭河畔桜土手は昭和44年に町民の有志により桜170本が植栽されました。  
 棧敷席、ステージ、屋台などが設置され、盛大に開催されます。



■来んさい！見んさい！踊りん祭！！ 夏～秋頃

格子戸の残る商店街を踊りながらパレードし、観客自由参加の総踊りも繰り広げられる熱気あふれる夏の祭りです。



■ちづ宿 ハイカラ市 11月

大正浪漫の時代衣裳を着た人たちが行き交い、レトロカーの展示があります。智頭宿にハイカラなものが集まります。



■智頭宿雪まつり 2月上旬

雪深い里の祭にふさわしい雪灯籠は、人々の足元を照らし、とても幻想的。



# 智頭町ならではの特産品をどうぞ。

懐かしい山里の恵まれた自然環境の中で、人の知恵と技が見事に融合し、素朴な味わいをそのままに、たくさんの特産品が作られています。



●もちや栃ようかん



●手づくりかきもち

●やたら漬け



●藍染め製品



●板井原ごうご

約40年ぶりに復活した幻の「板井原ごうご」



●寄せ木のコースターとマウスパッド



●極吟豆腐



●地酒づくり

●日本酒

★特産品はここから・・・



●柿の葉寿司

※板井原「カフェ和佳」にて6月～10月中旬の土日限定で提供しています。



●智頭銘菓「杉の実」



●クラフトビール



●智頭町観光協会 暮らし屋